

2. 分野別状況 (2) 地域活性化総合特区 ③アジア拠点化・物流分野

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
ハイパー&グリーンイノベーション水島コンビナート総合特区(岡山県)	4.6	<p>5</p> <p>進捗度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業間連携による用役コストの低減 144% ・水島港の輸送効率改善による貨物取扱量 101% ・企業集積によるコンビナートの成長と雇用の確保 503% 	<p>3.9</p> <p>規制の特例等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化総合特別区域ガス融通事業 ・回送運行効率化事業 ・分割可能貨物輸送効率化事業 ・地域独自の取組 ・倉敷市企業立地促進奨励金 ・高圧ガス保安法に係る保安検査報告書の提出期限の延長等 	<p>4.8</p>	<p>・評価指標(2)については、COVID-19等の影響を考慮して、当初(平成27年度)ではなく、令和元年度の実測値を令和4年度の目標値とし、それをやや上回っているが、参考指標にある令和3年度の貨物取扱量と比較すると、やや減少している点は気にかかる。また、評価指標(3)の①投資額も②雇用創出数も目標を大幅に上回っているが、いずれも大型投資案件に関連した増加分が大きく、その分を差し引いた場合にどのような状況であるかをしっかり検討して自己評価している点は評価できる。</p> <p>・好立地や産業集積という水島コンビナートの強みを活かして国際バルク戦略港湾の実現に向けて着々と事業を進めていただくことを期待する。</p> <p>・水島港の輸送効率向上について、ソフト面整備(許可手数料、再入港とん税、錨泊地利用基準緩和)とハード面整備(耐震強化、倉敷みなと大橋)の取組の効果が確実に表れていることが高く評価できる。</p> <p>・コンビナート形成のためマザー工場化を支援する「国内投資促進奨励金」制度を新設したことは大いに評価できる。</p>